

8 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

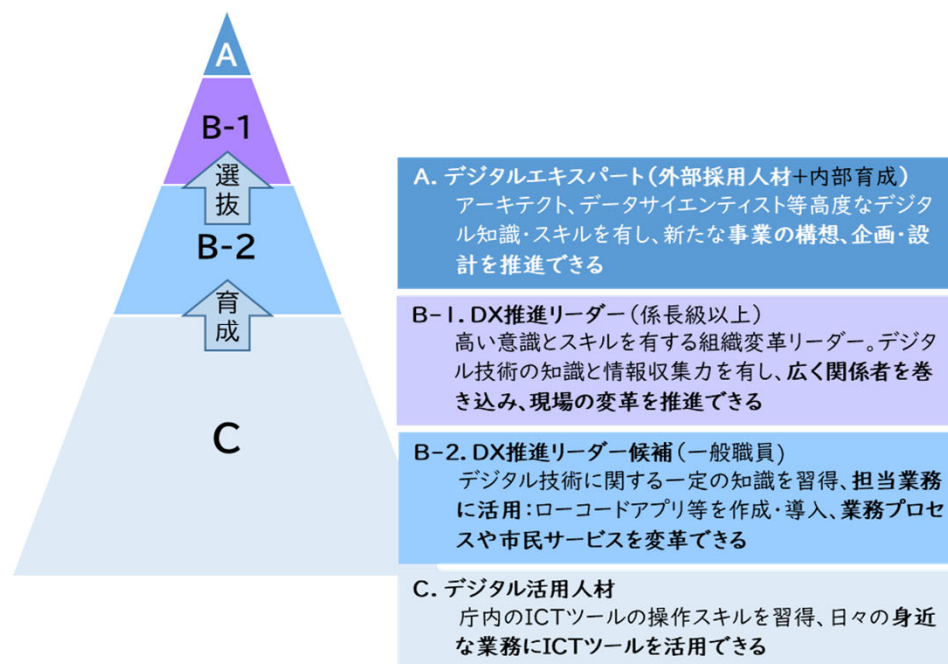


- 係長級以下、管理職向けにそれぞれ人材育成支援を充実化し、目的に応じた個別研修を実施。受講者等からのフィードバックを踏まえ、今後体系的な研修メニューを構築

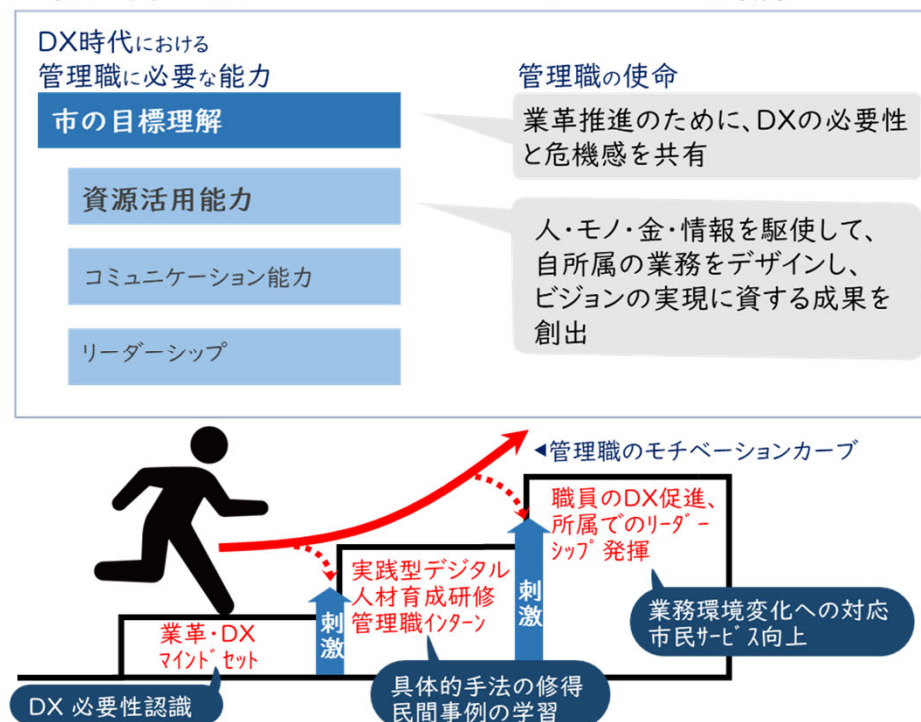
事業の概要

- 令和4年度から、デジタルツールを活用する人材（係長級以下）向け、管理職向けにそれぞれ人材育成支援を充実化。具体的には、「DX推進リーダー育成研修」、「実践型デジタル人材育成研修」を実施。
- 受講者や事業者の声をフィードバックした上で、令和5年度以降の体系的な研修メニューを構築していく。

1. デジタルツールを活用する人材の育成（係長級以下）



2. 管理職に対するDXマインドセット、アクション支援



8 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



(総務省)

取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和2年9月に策定した「行財政改革方針2025」において「スマート自治体」を目指すことを掲げています。

人口縮減時代においても持続可能な自治体経営・行政サービスを提供できる「スマート自治体」を実現するためには、**デジタル技術を積極的に活用して業務変革を進めることができる職員が必要不可欠**と考えており、「働き方改革ロードマップ2.0」に沿って全庁的なDX人材の育成と配置に取り組んでいます。



(神戸市)



近況や工夫している点を教えてください。

デジタル人材確保に関しては、**ジョブ型雇用として民間求人サービスを活用し任期付職員を採用しているほか、社会人採用試験において、ICT/デジタル区分による採用**を行っています。

人材育成に関しては、必要とされる専門性・レベルに応じて階層別に研修を実施していく方針で、**令和4年度からDX推進リーダーを育成するための研修等を開始**しました。

今後DX推進リーダーとなる層を拡大するには、**育成後のキャリアパスの確立や全職員のデジタルリテラシー向上による底上げが課題**と考えています。



研修の対象人数、日数、研修時間、科目等を教えてください。

参考資料（DX推進リーダー育成研修）に詳細を記載していますので、ご確認ください。



取組にコストはかかりましたか。

外部人材確保に係る費用として**募集経費、報酬**などを要しています。
また、DXに関する**外部講師研修及びeラーニング利用費用**を要しています。



活用した国の支援策を教えてください。

DXに関する**管理職向け研修開催の参考とするため、地域情報化アドバイザー制度**を利用しました。



8 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



(総務省)

他自治体からよく質問されることを教えてください。

① デジタル人材育成にかかる研修の具体的な実施内容

庁内のICTリテラシー向上のすそ野を広げる研修から、後述の参考資料に記載したようなDX推進に向けた研修まで幅広く実施しています。

② 職員の知識レベルの把握方法

現状、DX推進リーダー等に認定する制度や基準は無く、本市においても、**研修履歴やスキル・資格データの一元管理等、DX人材に関するデータ管理と活用が課題**です。

③ デジタル人材のキャリア形成

庁内公募によりDX人材育成コースに配属した職員や上記研修により育成したデジタル人材については、習得したスキル等を活かし庁内の様々な分野でDXを推進していくことを期待していますが、**具体的なキャリアパスの提示等については本市でも課題**となっています。



(神戸市)



今後の展望を教えてください。

人事・研修・業務改革・デジタルといった**各部門横断的に設置しているプロジェクトチーム**において、**人材育成にかかる課題等について定期的に進捗を確認し、全庁的なDX人材の育成に向けて取り組む**予定です。



☆担当：神戸市 企画調整局 デジタル戦略部 ☆

【参考情報】 神戸市人口：151.8万人 関連URL：神戸市のDX (<https://www.city.kobe.lg.jp/a08691/dxtop.html>)
デジタルを活用した業務改革>働き方改革(業務改革)ロードマップ (<https://www.city.kobe.lg.jp/a44881/roadmap.html>)

8 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

参考資料(DX推進リーダー育成研修等)

DX推進リーダー育成研修

研修概要	
(1)研修内容	包括連携協定を締結している日本マイクロソフト㈱と連携し、デジタル技術の習得及び現場のニーズに適した改善策を提案・実行できる現場のDXの中心的役割を担う人材を育成することを目的に実施
(2)対象人数	15名
(3)実施日程	7日間(6月～9月にかけて約3か月) ※講義(ハンズオン含む)約30h+グループワーク約15h+自主学習あわせて50h程度のボリューム
(4)プログラム	①基礎知識(DXの意味、用語、神戸市のネットワークセキュリティ) ②テクニック(MicrosoftPowerPlatformのハンズオン) ③トレンド(DXの事例、最新の働き方) ④マインド(心構え、サービスデザイン思考、BPRの手法) ⑤グループワークによる業務改善の実践 ⑥自主学習(Udemy Business)

学習ツール

Power Apps
アプリ作成

Power Automate
タスク自動化

Power BI
データ分析

Power Virtual Agents
チャットボット

Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。各アプリケーションの名称は、米国Microsoft Corporationが開発したアプリケーションの名称です。

1

DX推進リーダー育成研修

- マインドセット
MS常務執行役員佐藤様講和



Growth mindset



誰もが常に学び、好奇心を持つことで成長し続けることができます。

- ① 変化を歓迎し、他人の成功を称賛する
- ② 失敗を恐れず、挑戦し続ける
- ③ 努力を怠らぬ
- ④ 他人の成功を称賛する

- デザイン思考ワークショップ



- アプリケーション作成ハンズオン

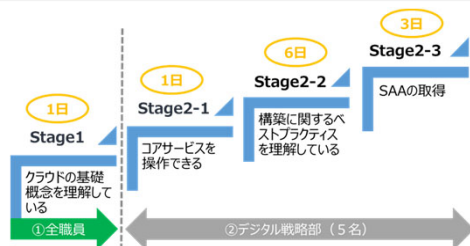


2

クラウドサービスに関する研修(AWS)

研修概要	
(1)研修内容	・AWSを活用し既成のデジタルツールとクラウド上のサーバ、データベース等を組み合わせた、より高度なシステム設計・構築について習得するための研修を実施 ■研修の到達目標 ・AWSの主要サービスを操作できる ・AWSエンジニアとしての標準レベル(SAA=ソリューションアーキテクトアソシエイト相当)の知識を有する構成確認、概算が可能 ・SAAの取得
(2)対象人数	5名(クラウドサービスの概念や基礎知識に関する研修については希望者全員に案内)

○R4 研修コンテンツ (Stage別到達目標)



3

Kobe Tech Leaders (KTL)

ICTを業務改善や市民サービス向上に活かすことを目的に、Office等の基礎的な技術からクラウド等の最新技術まで、職員のレベルやニーズに応じた研修コンテンツを職員が中心となって開催したり、職員同士でICTツールの使い方や活用方法についての情報交換を行っている



- イベントをターゲット別にフォーマット化し、決まった曜日に開催

「KTL Learn Advance」(第4水曜)

ICTに詳しい職員の更なる技術力アップを目的としたハンズオンセミナー業務への応用を見据えたテーマの習得を目指した内容

「KTL Learn」(第2金曜)

業務ですぐに使える技術をハンズオン(実際にPCを操作して)で学ぶセミナーICTにあまり詳しくない方も気軽にご参加いただける内容

「KTL Work」(第3金曜)

Officeやkintone等による業務改善ツールの開発作業を集中して行いつつ、わからないことがあればその場で詳しい職員に質問できる場(もくもく会)

○KTL Learn R4開催実績

開催日	テーマ
6月22日	行政手続きスマート化説明会
7月27日	Teamsの正しい使い方
8月24日	ドローンはいかがですかセミナー
8月29日	kintoneQ&A
9月9日	Excel使いこなし講座
9月28日	やってみよう!Power Query
10月14日	はじめてのPower Apps
10月26日	パワポで動画を作ろう
2月22日	Power Appsで現場検査アプリを作ってみよう
3月10日	ドローンの庁内活用事例紹介
3月22日	パワポでつくる「伝わるロゴ・アイコン」

4

8 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

参考資料(実践型デジタル人材育成研修等)

実践型デジタル人材育成研修

研修概要	
(1)研修内容	職場の業務課題をテーマに、所属長を中心とするチームで、デジタル技術を活用したソリューションを企画・提案する実践型研修を実施。研修を通して企画・提案するソリューションについては、R5年度の予算要求を行うことを目標とする。
(2)事業者	一般社団法人シビックテック・ラボ 講師：市川博之
(3)対象人数	参加所属を庁内から募集の上、5所属選定
(4)実施日程	6日間 7/20、8/2、8/24、9/13、10/7、11/2 (最終報告会)
(5)参加所属とテーマ	企画調整局デジタル戦略部 職員からの問い合わせ対応業務の効率化 行財政局総務事務センター 会計年度登録制度の運用改善 消防局兵庫消防署総務査察課 査察業務の効率化 水道局配水課 給水装置工事申請の審査業務効率化 福祉局監査指導部 市民からの問い合わせ対応業務の効率化

5

実践型デジタル人材育成研修 第1回 2022/7/20

- 全4回の研修でプロジェクトの企画・作成します!
- 要求定義: 何を求めたいか? (ゴール)
- 要件定義: 何を求めたいか? (ゴール)
- アセスメントの重要性: 現状が解らない業務は

神戸市 実践型デジタル人材育成研修 Day 2 2022.8.2.

本日の目的: 新業務の要件が決定し、機能/非機能要件をまとめる

業務分析手法①「ダラリ分析」

業務分析手法②「ECRS分析」

業務分析手法③「ラテラルシンキング」

業務改革のセオリー

- 業務標準化: 業務の集約で、コストが削減!
- デジタルファースト: 手長をなくし、リカバリを早くする
- セルフサービス: 利用者に作業を依頼するデジタル化

機能要求: 作業にどの程度の機能が必要か?

非機能要求: 運用に必要な前提条件が満たされているか?

6

神戸市実践型 デジタル人材育成研修 Day 3

本日のゴール

- 新業務フロー-BPRをサービスの観点を含めて完成させること
- 指標として利用者の負担が軽減できること

BPR/サービスの確認

神戸市実践型 デジタル人材育成研修 DAY 4 2022/9/13

本日のゴール

- 業務の優先順位を洗い出し、完了させる
- 機能の優先順位とフェーズの確定
- 費用対効果算出

機能の優先順位とフェーズの確定

費用対効果算出

7

神戸市管理職マネジメント研修 Day 5 2022/10/7(金)

今日のPoint

- システムはサービスを作るための?
- 課題の目的?

■プロジェクトの課題とリスク対応

■プロジェクト提案書の作成

■福利厚生

■行財政

研修内容

研修会場

8